

編集後記

人間の耳は20～2万ヘルツ(Hz)の音を聞き取れるが、不快な蚊の羽音は350～600ヘルツである。しかし「モスキート音」とは1万6,000Hz以上もの高周波音で、若者なら聞こえるが高齢者では聞こえ難い高音である。夜の公園にたむろする若者を追い払うために、この高周波音を試みる話があったが…その結果は定かではない。

透析患者では聴覚障害の頻度が高いことが知られ、さらに味覚や視覚の障害も知られている。しかし嗅覚障害の情報はきわめて乏しい。感覚器障害は高齢者では普遍的でもあり、味覚・嗅覚障害などのごとく複合してみられる頻度も高い。透析患者でも高齢化が叫ばれており、彼らの感覚器障害の一部は加齢現象を背景にしていると想定される。しかし保存期CKDの時期から、GFRと聴力

の低下には正の相関がみられている。味覚障害は亜鉛欠乏と関連し、透析患者では高頻度な亜鉛欠乏がある。ところが亜鉛補充によっても味覚障害には期待したほどの効果はみられていない。一方で腎臓移植により味覚の改善が得られ、亜鉛欠乏以外の因子の関与も十分に想定される。尿毒症や糖尿病では末梢神経症の発症も知られている。このような多くの感覚器障害の背景にある病態は、未だに十分に解明されていない。さらに、感覚器障害はADL、QOL、栄養状態を低下させ、ひいては生命予後に悪影響を及ぼしている。このような諸事実から、透析(一部ではCKD)患者での感覚器障害の研究は未だに十分とはいえないようである。

(鈴木正司)

2020年(Vol.36)特集のご案内

No.① 透析患者の感覚器障害

No.2 透析液・透析関連排水の諸問題

No.3 腎代替療法と Shared Decision Making

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.36 No.1

©2020年1月10日発行
定価：(本体2,600円+税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増永和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541